

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第14回)

ストレージで体のぜい肉を減らす？

2018.10.24

一度聞いただけではなかなか理解できないIT用語。そんなIT初心者の社長にも分かるように、難解なIT用語を解説する本連載。今回のテーマは「ストレージ」だ。

「社長、ファイルサーバーのデータが一杯になってきたので、社内ストレージの増設かクラウドストレージを検討しませんか」
(総務兼IT担当者)

「ストレージ……？いまさら君に言われなくてもやっておる」(社長)

「やっておられる？ストレージを？」

「体のぜい肉を減らそうと、風呂上がりにいつもストレッチしておるぞ」

「ストレッチじゃありませんよ。会社のデータを保管するストレージのことですよ。最近ではストレージの装置を買わなくても、クラウドに預けられるようになっているんです」

「ストレッチとストレージ。何だかややこしいな。わしのおなかのぜい肉がスリムになるなら、何でもいぞ」

ストレージはデータの保管場所



ストレージには保管や格納という意味があり、IT分野ではデータを保管する装置・仕組みをストレージと呼んでいます。ストレージがあれば社員はデータを共有しながら、効率的に仕事ができます。業務用データを格納するストレージを社内において利用する場合もあれば、ストレージの機能をネットワーク経由で利用する「クラウドストレージサービス」を活用する場合があります。

Q **ストレージにはどんなタイプがありますか…** [続きを読む](#)